

# HSBC ロシア オープン

追加型投信/海外/株式

2011年12月版  
販売用資料



お申込みの際は最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は

設定・運用は

## HSBC投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第308号  
加入協会 / (社)投資信託協会  
(社)日本証券投資顧問業協会

HSBC   
Global Asset Management

# 当ファンドの特色

「HSBC ロシア マザーファンド」\*1への投資を通じて、主にロシア連邦\*2の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

\*1 以下、「マザーファンド」といいます。 \*2 以下、「ロシア」といいます。

## 1 ロシアの株式等に投資します。

▶ マザーファンドへの投資を通じて、以下の株式等に投資します。

投資対象企業	・ロシア国内の企業 ・ロシア経済の発展と成長に関連する、ロシア以外の国の企業
投資対象 有価証券	・投資対象企業の株式 ・投資対象企業のADR(米国預託証券)やGDR(グローバル預託証券)等 ※預託証券とは、ある国の発行会社の株式を海外でも流通させるために、その会社の株式を銀行等に預託し、その代替として海外で発行される証券のことをいいます。

- ▶ 株式の実質組入比率は、原則として高位に維持します。
- ▶ 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

## 2 MSCIロシア10/40 指数\*(円ベース)をベンチマークとして、中長期的に当該インデックスを上回る投資成果を目指します。

\* MSCIロシア10/40指数とは、ロシアの証券取引所に上場する企業を対象とした一般的な指数であるMSCIロシア指数に対し、投資信託に合わせた調整(時価総額が大きな銘柄で一銘柄毎の構成比率の上限を10%以下となるようにする、あるいは5%を超える銘柄グループの合計が上限40%を超えないようにする等の規則に配慮した調整)を加えた浮動株調整後時価総額加重平均を算出した指数をいいます。なお、当該指数は、MSCI社(MSCI Inc.)が開発、計算した指数で、同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利はMSCI社に帰属します。また、MSCI社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。ベンチマークは、同指数を委託会社が円換算した数値を使っています。

## 3 HSBCグローバル・アセット・マネジメント(UK)リミテッドが運用を行います。

- ▶ 運用委託契約に基づいて、HSBCグローバル・アセット・マネジメント(UK)リミテッドに、マザーファンドの運用の指図に関する権限を委託します。  
※運用の指図に関する権限の委託を中止または委託の内容を変更する場合があります。
- ▶ HSBCグローバル・アセット・マネジメントに加え、HSBCグループ内の情報ソースを活用します。

市況動向やファンドの資金動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

## 当ファンドの主なリスク

投資信託は元本保証のない金融商品です。また、投資信託は預貯金とは異なることにご注意ください。当ファンドは、主に値動きのある外国の有価証券を実質的な投資対象としますので、組入有価証券の価格変動あるいは外国為替の相場変動次第では、当ファンドの基準価額が下落し、投資者の皆さまの投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。

株価変動リスク	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。株価は短期的または長期的に大きく下落することがあります。株式市場には株価の上昇と下落の波があり、現時点で価格が上昇傾向であっても、その傾向が今後も継続する保証はありません。
信用リスク	株式および債券等の有価証券の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる可能性があります。債券等への投資を行う場合には、発行体の債務不履行や支払遅延等が発生する場合があります。
為替変動リスク	外貨建資産の円換算価値は、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。
流動性リスク	急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。
カントリーリスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または資本取引等に関する規制の変更や新たな規制が設けられた場合には、投資方針に沿った運用が困難になることがあります。エマージング市場は、一般的に先進諸国の市場に比べ、市場規模が小さく流動性が低いことなどから、上記の各リスクが大きくなる傾向があります。

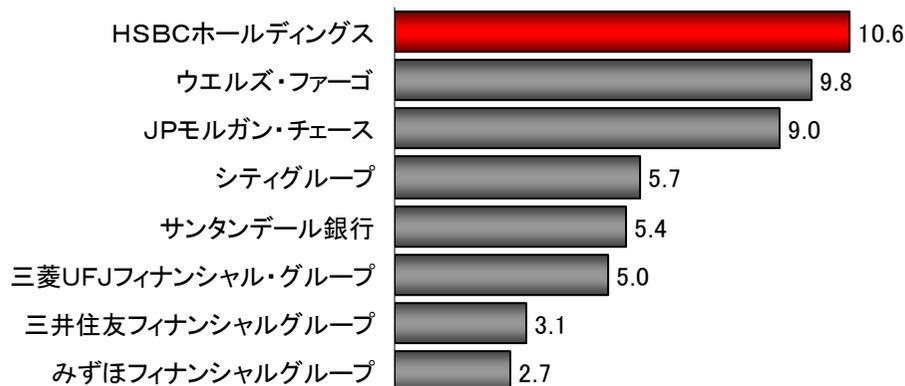
※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※ 上記のリスクをご理解いただき、投資のご判断はご自身でなさいますようお願い申し上げます。

# HSBCグループは世界有数の金融グループです

## OECD諸国主要金融機関の時価総額

(2011年9月30日現在 単位:兆円 1米ドル=76.65円で換算)



出所:ブルームバーグのデータをもとにHSBC投信が作成

## HSBCグローバル・アセット・マネジメント拠点網



▶ HSBCグループの持株会社であるHSBCホールディングスplcは英国に本部を置いています。HSBCグループは、ヨーロッパ、アジア太平洋地域、アメリカ大陸、中東、アフリカにまたがる80を超える国と地域に約7,500の拠点を擁し、2011年6月末現在2兆6,910億米ドルの総資産を持つ世界有数の金融グループです。

▶ HSBCグループはユーロマネー誌の2010年ベスト・エマージング・マーケット・バンクを受賞、他20部門で最優秀金融機関に選ばれました。

(出所: Euromoney, July 2010)

▶ HSBCグローバル・アセット・マネジメントは、HSBCグループに属する資産運用会社の総称です。

▶ ロンドン、パリ、ニューヨーク、サンパウロ、香港、シンガポール、ムンバイ(ボンベイ)、東京等、世界約30の国と地域に拠点を有しています。

－ 先進国のみならず新興国までカバーし、全世界の地域、資産を対象とするグローバルな運用体制

－ 新興国市場や地域に特化した運用、業種特化型運用に強み

－ 運用資産約37兆円。内、新興国向けは約11兆円。\*

※ HSBCグループの資産運用会社全体の資産総額で、約4,534億米ドル。

内、新興国向けは約1,393億米ドル。

(1米ドル=80.73円で換算、2011年6月末現在)

▶ HSBC投信株式会社はHSBCグローバル・アセット・マネジメントの一員であり、新興国市場で強みを発揮するとともにグローバルな運用を行っています。

上記は、当資料作成時現在知りうる情報であり、今後変更となることがあります。

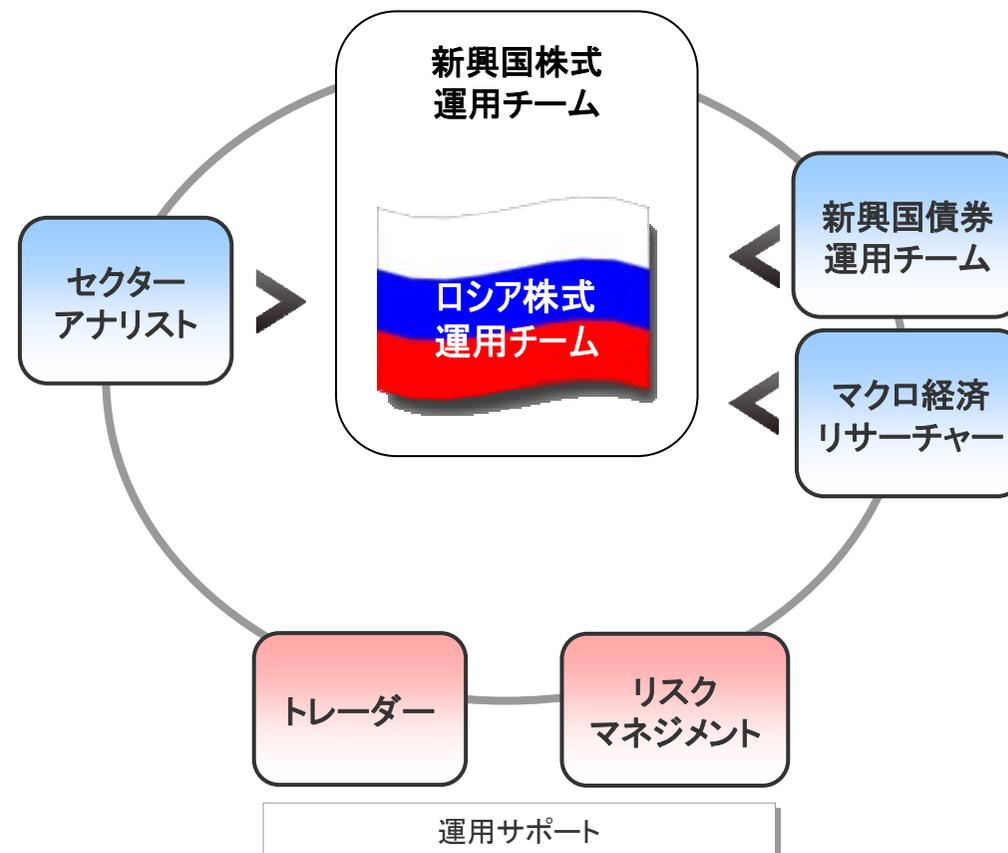
当資料の「留意点」については、17ページをご覧ください。

# HSBCのネットワークとロシアの運用体制

## HSBCのロシアでのネットワーク

- ▶ HSBCがロシアに進出したのは、1918年。銀行の支店を開設しました。
- ▶ 2000年のRepublic National Bank of New York買収により同行のロシア現地法人を傘下に収めました。
- ▶ 現地法人の名称を「OOO\* HSBC Bank (RR)」に変更し、現在ロシア国内で法人向けを中心に銀行業務を展開しています。  
(\* OOO =オー・オー・オーはロシア語で「有限会社」の意味)
- ▶ HSBCグローバル・アセット・マネジメントは10年以上に亘りロシア株の運用を行っており、運用総額は約13億4,400万米ドルに達しています。(2011年9月22日現在)

## 当ファンドの運用体制



# ロシアの概要とロシア投資のポイント

## ロシアの概要

- 国名： ロシア連邦  
(共和国や州など83の構成主体からなる連邦共和制)
- 国土： ユーラシア大陸に広がる約1,710万平方キロメートル  
の広大な国土(出所：世界銀行 World Development Indicators)
- 人口： 約1億3,808万人(世界第9位)  
(出所：U.S. Census Bureau, International Data Base、2012年推計値)
- 首都： モスクワ(人口約1,151万人、2011年4月)  
(出所：外務省)
- 大統領： ドミトリー・メドヴェージェフ
- 首相： ウラジミール・プーチン
- 議会： 上院178議席、下院450議席
- 与党： 「統一ロシア」
- 通貨： ルーブル(1ルーブル=約2.41円)  
(出所：投資信託協会、2011年9月末現在)
- 名目GDP： 約1兆4,798億米ドル  
(世界第11位、2010年)(出所：IMF)
- 外貨準備： 約4,840億米ドル  
(世界第3位、2011年6月現在)(出所：ブルームバーグ)

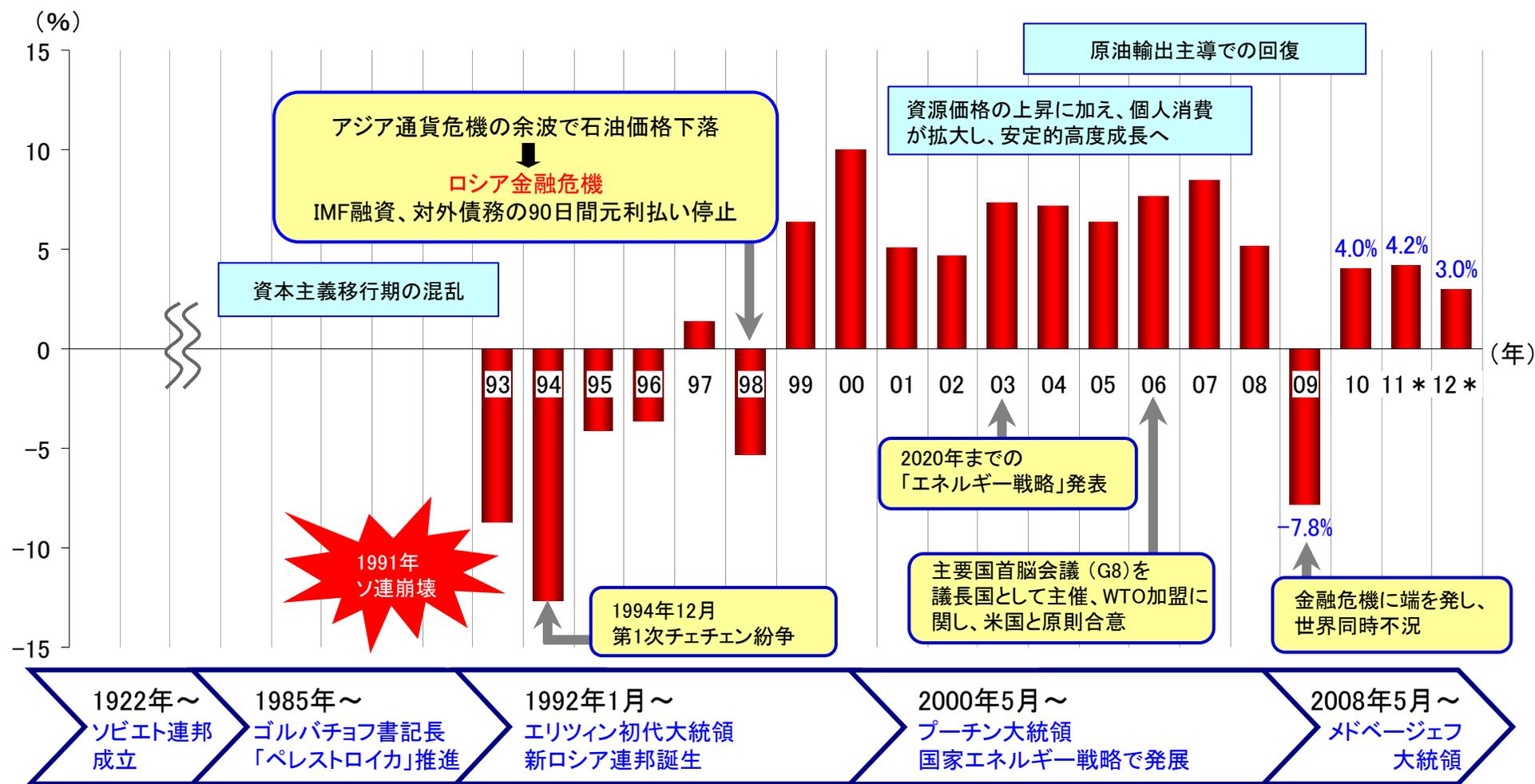
## ロシア投資のポイント

- ▶ ロシア連邦の誕生と発展
- ▶ 資源大国ロシア
- ▶ 進むインフラ整備
- ▶ 拡大する個人消費
- ▶ ロシア経済と今後の課題
- ▶ ロシアの株式市場

# ロシア連邦の誕生と発展

- ▶ 1990年代にはソビエト連邦崩壊後の混乱もあり経済が低迷しましたが、2000年代に入ると安定を取り戻し成長軌道に乗りました。
- ▶ 2009年の世界同時不況時には経済は大きく落ち込みましたが、その翌年には回復し成長軌道に戻っています。

ロシア連邦の誕生と実質GDP成長率の推移



\* HSBCグローバルリサーチ予想

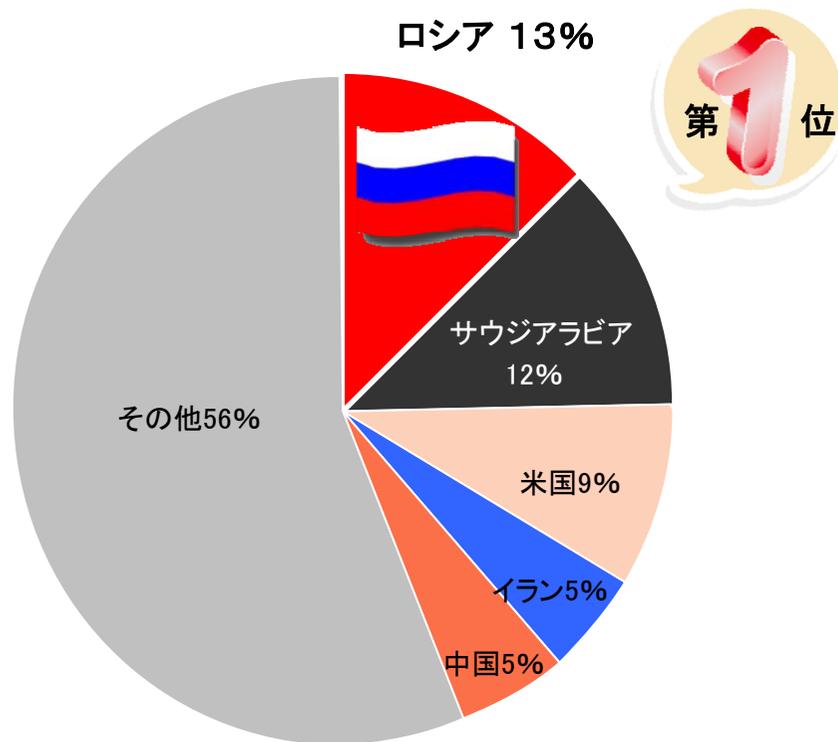
出所: ロシア連邦統計サービスのデータをもとにHSBC投信が作成

当資料の「留意点」については、17ページをご覧ください。

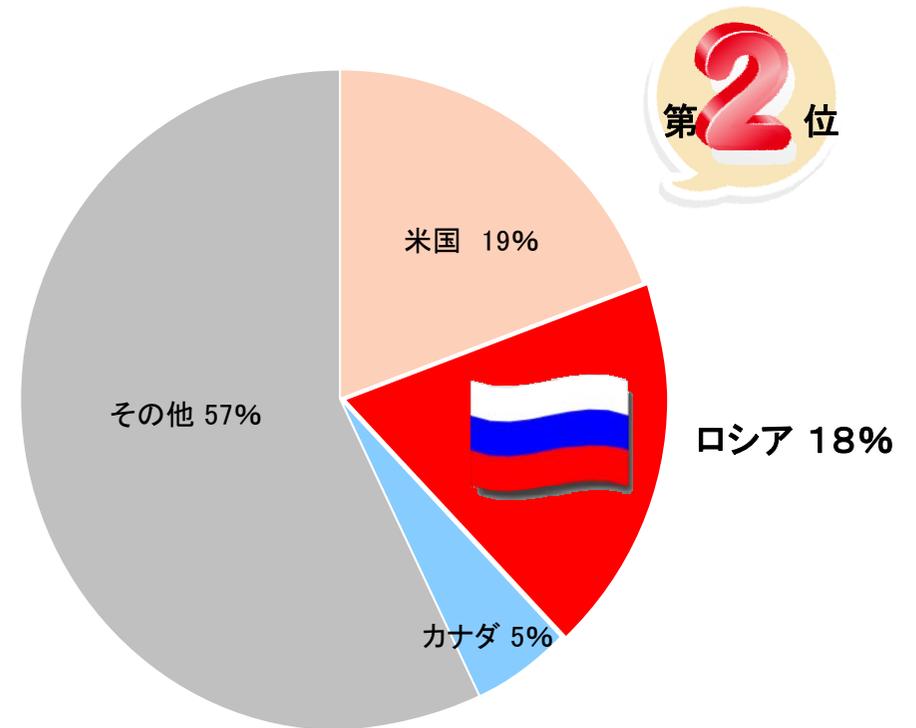
## 資源大国ロシア ①エネルギー

- ▶ ロシアは日本の約45倍という広大な国土を有し、さまざまな鉱物資源に恵まれています。
- ▶ 石油と天然ガスはともに世界トップクラスの生産量を誇っています。

石油生産量(2010年)



天然ガス生産量(2010年)



注: 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。  
出所: BP “Statistical Review of World Energy (2011)”のデータをもとにHSBC投信が作成

## 資源大国ロシア ②農産物、鉱物資源

- ▶ ロシアは農業大国としても注目されており、穀物など豊富な生産量を誇っています。
- ▶ 希少金属を含む各種鉱物資源の生産量も世界トップクラスとなっています。

### 農産物・鉱物 世界生産ランキング



ライ麦	1位
オート麦	1位
大麦	1位
小麦	3位
蕎麦	2位
じゃがいも	3位
ひまわりの種	1位
カレンツ(干しぶどう)	1位
ラズベリー	1位

出所: 国連食料農業機関(FAO),2009年



ニッケル	1位
アルミニウム	2位
マグネシウム	4位
シリコン	2位
コバルト	4位
ダイヤモンド	1位
硫黄	3位

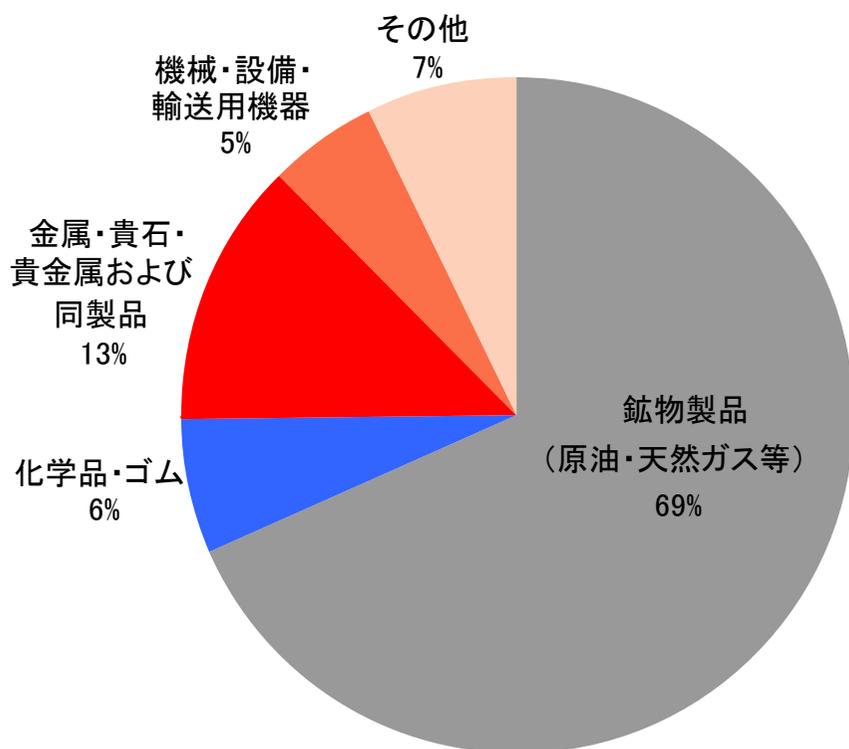
出所: 米国地質調査所(USGS),2010年推計値



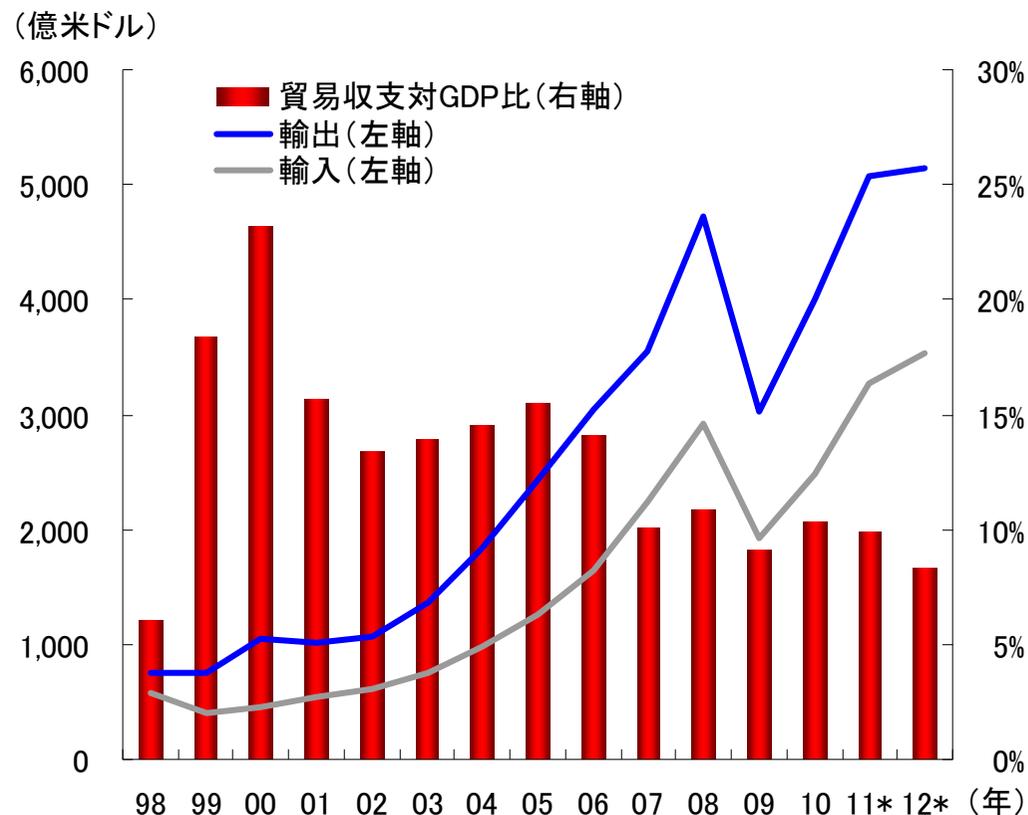
## 資源大国ロシア ③堅調な輸出

- ▶ 輸出品目別の構成比を見ると原油や天然ガス、その他鉱物資源に関連した品目が上位を占めています。
- ▶ これらの輸出によりロシアの輸出は大きく伸びています。2009年の世界同時不況時には落ち込みましたが、その後回復し再び輸出が拡大してきています。

輸出品目別の構成比(2010年)



貿易収支(GDP比)



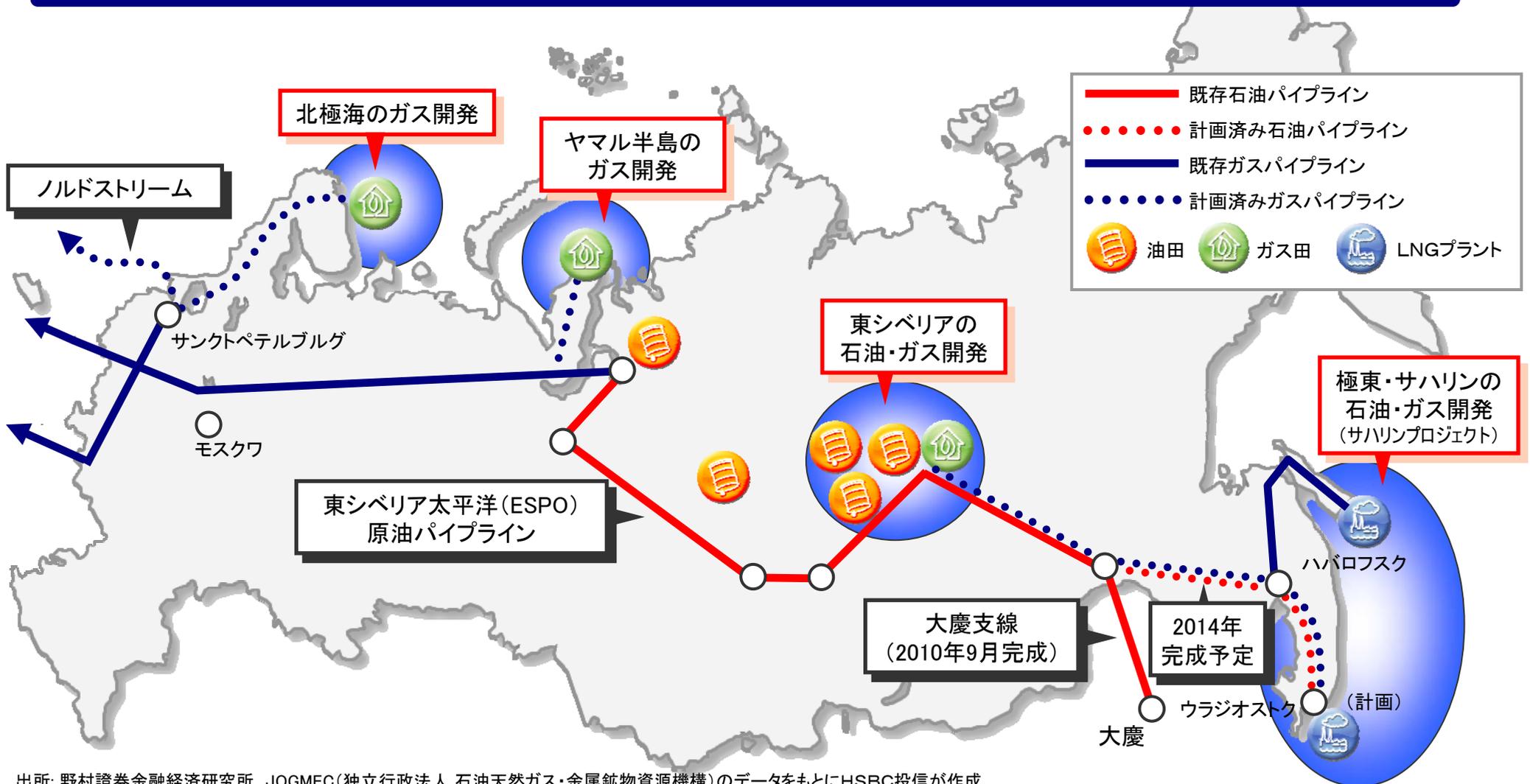
注: 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。  
出所: ロシア連邦統計サービスのデータをもとにHSBC投信が作成

\* HSBCグローバルリサーチ予想  
出所: データストリーム社のデータをもとにHSBC投信が作成

# 進むインフラ整備 ①パイプライン

- ▶ ロシアの注目ポイントにインフラ整備があげられます。広大な国土を通る石油・ガスパイプラインの建設計画が進んでいます。
- ▶ 今後新たなパイプラインの完成により、更なる輸出増加が期待されます。

## ロシアの主なパイプライン建設計画



出所: 野村証券金融経済研究所、JOGMEC(独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構)のデータをもとにHSBC投信が作成  
当資料の「留意点」については、17ページをご覧ください。

## 進むインフラ整備 ②鉄道

▶ 政府は2008年に「2030年までのロシアの運輸戦略」を策定し、鉄道網の整備を進めています。

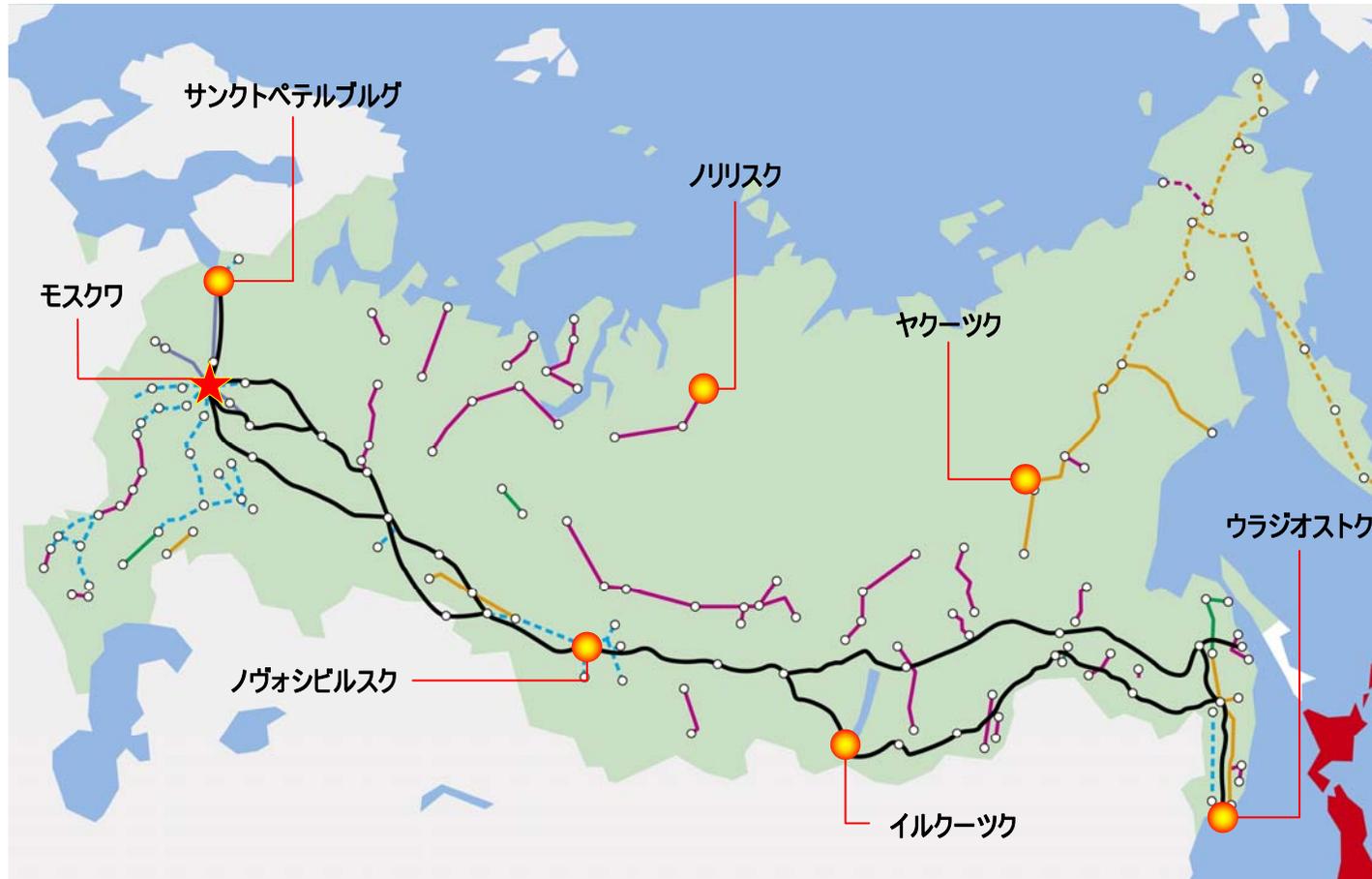
### 第一段階(2008年から2015年まで)

- コンテナ貨物年間輸送量  
200万TEUから400万TEUへ倍増
- コンテナ貨物輸送速度1,000km/日の達成

### 第二段階(2016年から2030年まで)

- 鉄道輸送の国際競争力の向上、  
コンテナ貨物年間輸送量を10億TEUに拡大

注: 1TEUは 20フィートコンテナ1個換算



#### ー 現在のシベリア横断鉄道(広義)

2030年までに開通が予定されている鉄道網

- 貨物
- 高速鉄道
- 戦略的重要路線 \*
- 社会的的重要路線 \*\*

2030年以降に開通が予定されている鉄道網

- 貨物
- 高速鉄道
- 戦略的重要路線

\* 戦略的重要路線については有効鉱物源の新鉱床の積極的な開発に向けての利用が主な目的

\*\* 社会的的重要路線については乗客輸送サービスの向上が主な目的

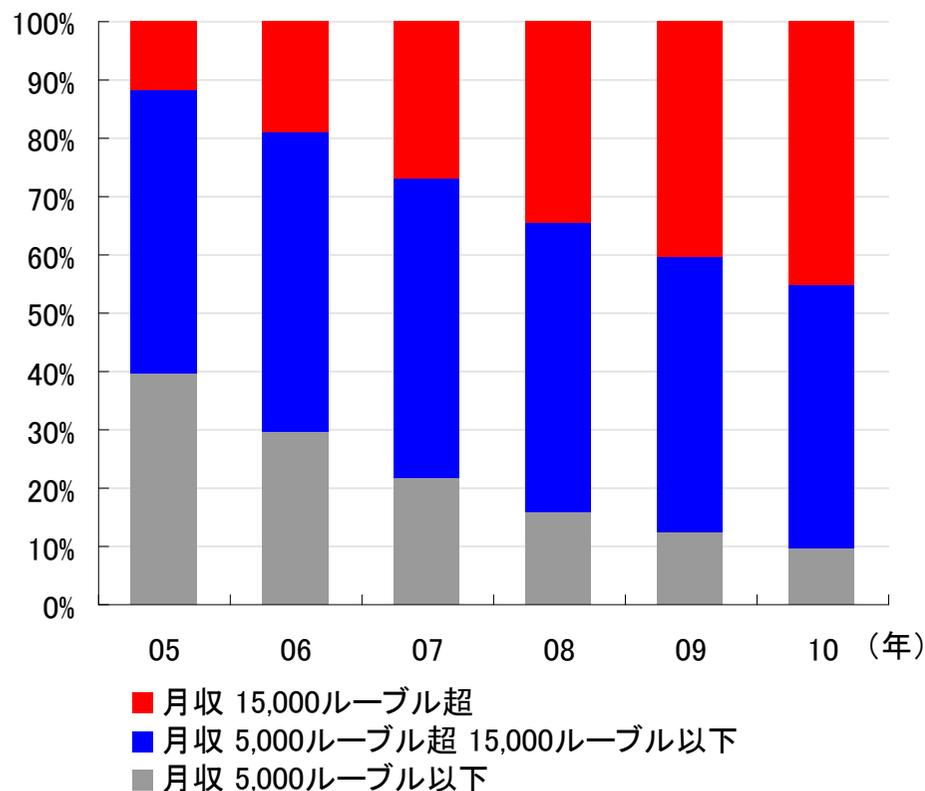
出所: ロシア鉄道のデータをもとにHSBC投信が作成

当資料の「留意点」については、17ページをご覧ください。

## 拡大する個人消費

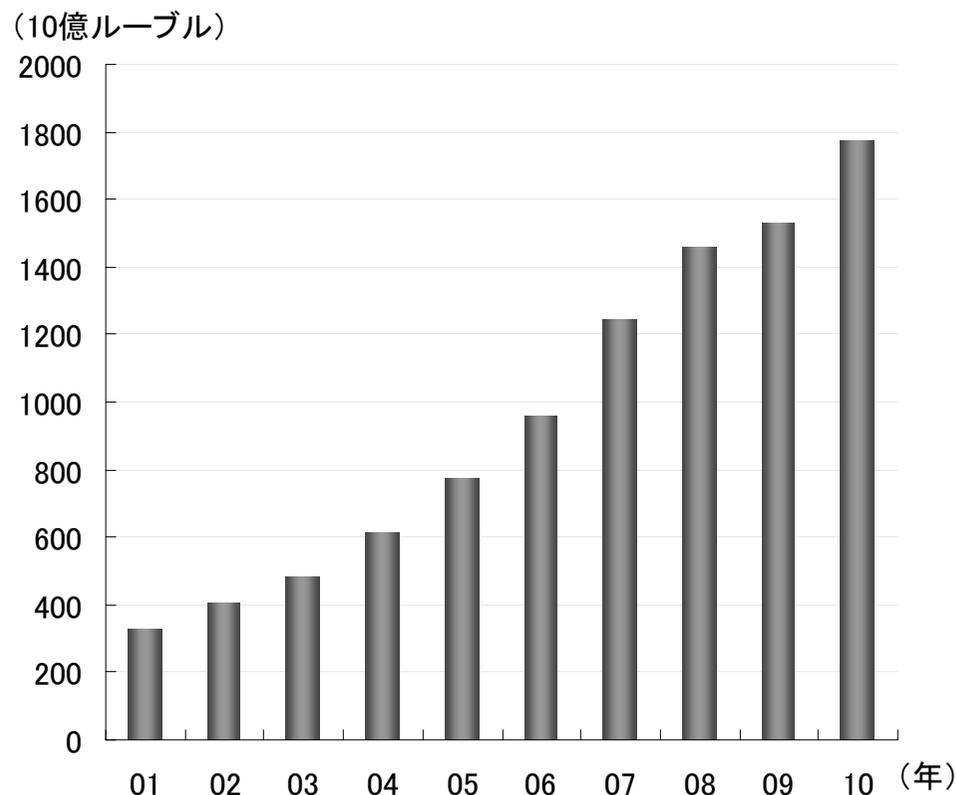
- ▶ 賃金分布の推移から見てとれるように、ロシア経済の成長にともない所得水準が上昇してきています。
- ▶ 消費の代表的な指標である小売売上高の推移を見ると、2001年以降順調に拡大しています。世界同時不況の2009年には、その伸びが急減しましたが、2010年には回復に転じています。

### 賃金分布の推移



出所: ロシア連邦統計局のデータをもとにHSBC投信が作成

### 小売売上高

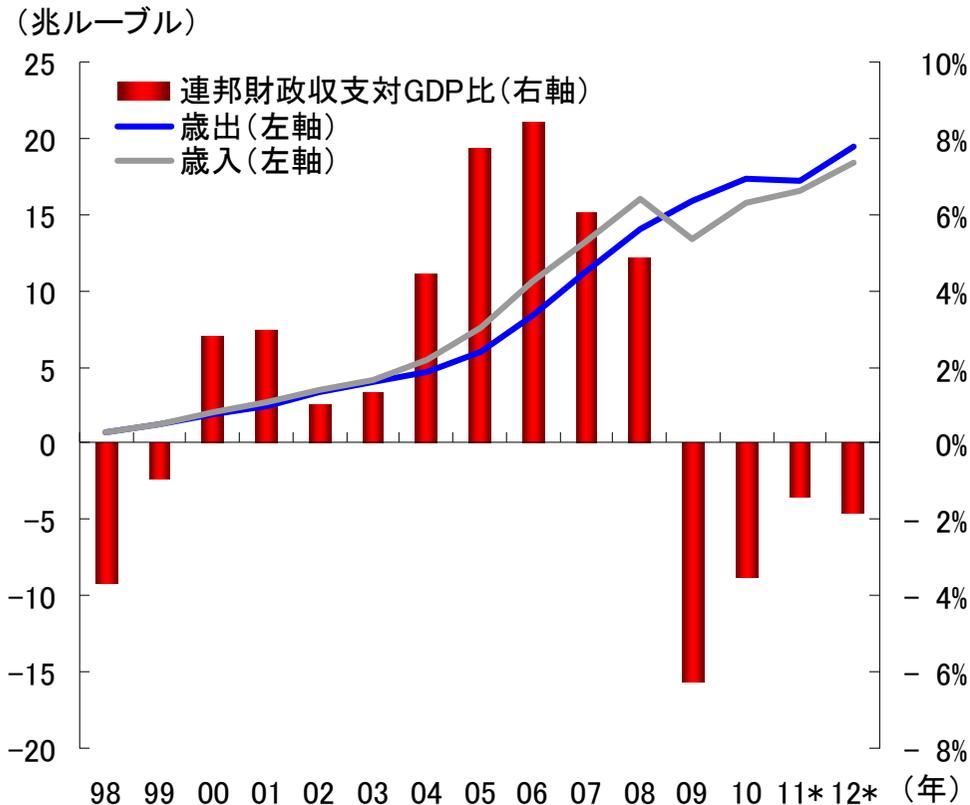


出所: ブルームバーグのデータをもとにHSBC投信が作成

## ロシア経済と今後の課題

- ▶ 2000年以降財政黒字を維持してきたロシアですが、2009年には世界同時不況の影響や資源価格の下落による税収の落ち込み等により赤字に転落しました。2010年には改善傾向が見られますが、財政規律を重視した政策が必要とされています。
- ▶ また、対応すべき課題としてインフレ懸念の高まりが挙げられます。消費者物価上昇率の推移を見ると2001年以降概ね低下傾向となっています。しかし、2010年8月以降上昇に転じ政策金利の引き上げが行われています。

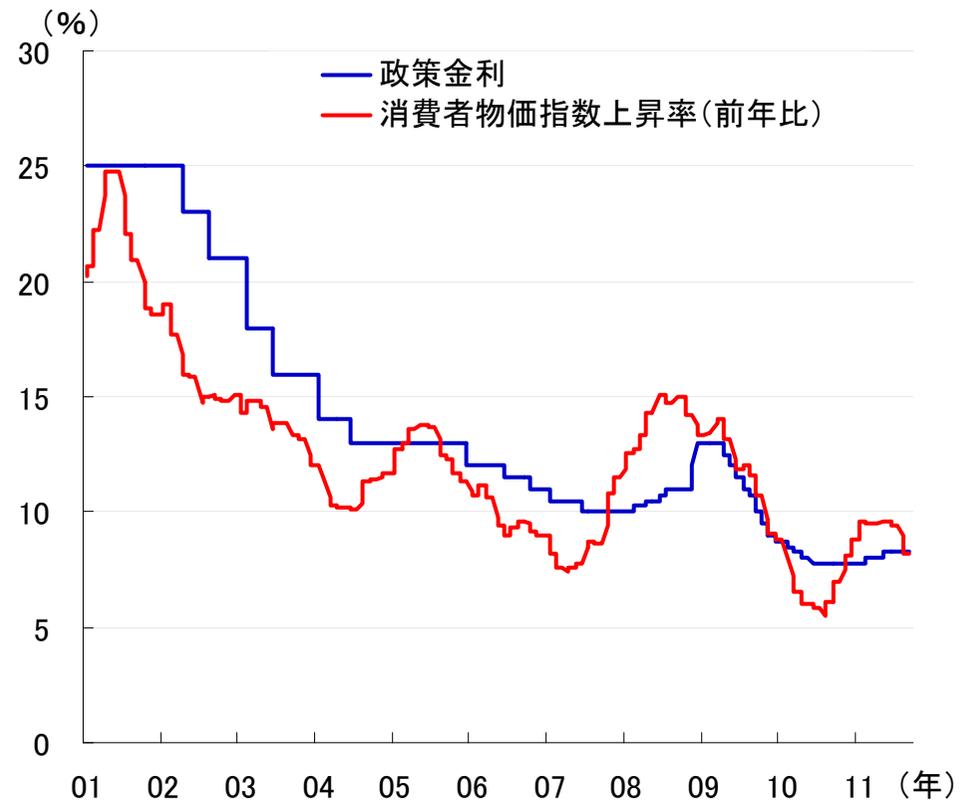
### 財政収支(GDP比)



\* HSBCグローバルリサーチ予想

出所: データストリーム社のデータをもとにHSBC投信が作成

### 政策金利・消費者物価指数上昇率(前年比)



出所: ブルームバーク社のデータをもとにHSBC投信が作成

当資料の「留意点」については、17ページをご覧ください。

# ロシアの株式市場①



## ▶ ロシア株の投資市場

### 1 RTS (ロシア取引システム)※

主に外国人投資家が参加  
取引はルーブル建てと米ドル建てが可能

### 2 MICEX (モスクワ銀行間通貨取引所)※

主にロシア国内の投資家が参加、  
取引はルーブル建てのみ

### 3 米国市場(ロシア企業のADR)

### 4 欧州市場(ロシア企業のGDR)

※RTSとMICEXは2011年12月19日合併予定



#### ADR・GDRとは？

ADRは米国預託証券、GDRはグローバル預託証券。  
預託証券とは、ある国の発行会社の株式を海外でも流通させるために、その会社の株式を銀行等に預託し、その代替として海外で発行される証券のことです。

## ▶ ロシア株式市場の規模

時価総額は、約7,593億米ドル

出所: ブルームバーグのデータをもとにHSBC投信が作成  
(2011年9月現在)

## ▶ ロシアを代表する企業

企業名	業種	概要
ガスプロム (GAZPROM)	エネルギー	天然ガスと石油の探査、生産、精製、販売を展開する世界規模の総合エネルギー企業。天然ガスの生産では世界最大手。世界全体の天然ガス生産の約20%、ロシアの約90%を占める。また主にウラル地方から天然ガスをヨーロッパへ輸出、世界の輸出の約4分の1を占める。
ルクオイル (LUKOIL)	エネルギー	ロシア最大の石油会社。ロシア国内及び9ヶ国で石油、天然ガスの探査・採掘、生産を手掛ける。油田の採掘、生産事業に積極的に投資し、世界最大規模の石油企業を目指している。また、ロシア国内及び米国で精油所及びガソリン小売事業を展開。
ノリルスク・ニッケル (NORILSK NICKEL)	素材	世界最大級の非鉄金属会社。ニッケル、パラジウムの生産では世界トップクラス。その他に白金、コバルト、プラチナ、金、銀などを生産。世界の非鉄金属市況に強い影響力を持つ。本社はモスクワ、タイムイル自治区とコラ半島に主要生産工場を保有。
ズベルバンク (SBERBANK)	銀行	モスクワに本拠を置くロシアの銀行最大手。中東欧全体でも最大規模。国内に2万店舗以上の支店を有し、預金、個人向け融資、クレジットカード、商業貸出、証券仲介業務など幅広く金融サービスを提供。預金業務では50%強の市場シェアを有する。
ビンペル・コミュニケーションズ (VIMPELCOM)	電気通信サービス	ロシア、カザフスタン、ウズベキスタン、タジキスタンで携帯電話などの無線通信サービスを提供。Beeline、K-Mobile、EXCESS、Armentelのブランド名で事業を展開。同社の無線通信サービスには音声、ボイスメール、ショートメッセージからインターネットアクセス、情報サービス、音楽、データ通信なども含まれる。
X5リテイル (X5 Retail)	食品・生活必需品小売り	売上高でロシア最大規模を誇る食品小売会社。主にロシア、ウクライナ、カザフスタンで事業を展開。積極的に店舗網を拡大しており、2011年6月末現在、ロシアおよびウクライナでの店舗数は2,683。

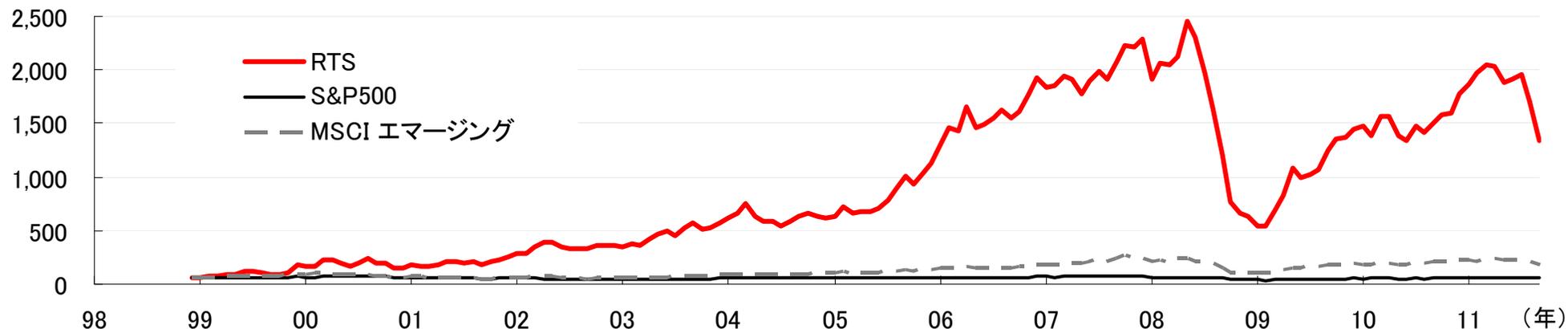
注: 上記は代表的な銘柄であり、当ファンドに必ずしも組入れられている銘柄ではありません。また、個別の銘柄を推奨するものではありません。銘柄名は、情報サービス業者の表記を参考にHSBC投信が翻訳したものであり、発行体の公式な和文名称と異なる場合があります。

出所: 各種資料をもとにHSBC投信が作成(2011年9月現在)

## ロシアの株式市場②

### 主要株価指数

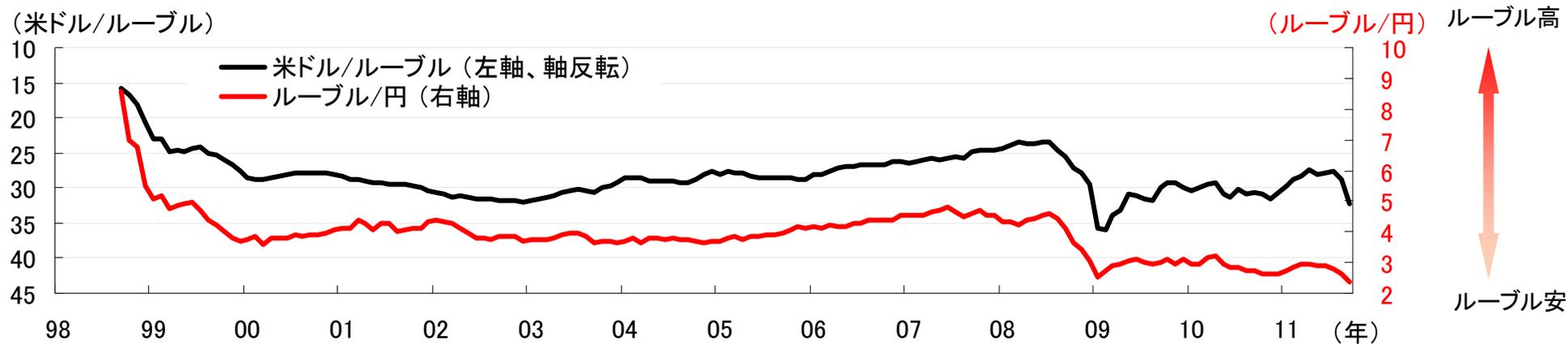
(1998年12月～2011年9月末)



注: RTS以外は1998年12月末のRTSの数値(58.93)を基準として指数化  
出所: ブルームバーグ、MSCIのデータをもとにHSBC投信が作成

### ルーブル為替相場の推移

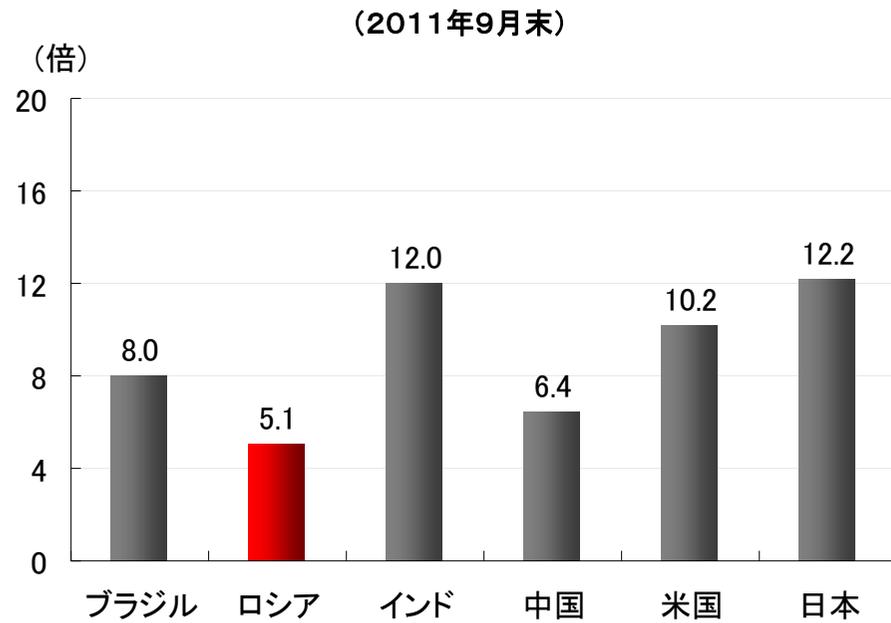
(1998年9月末～2011年9月末)



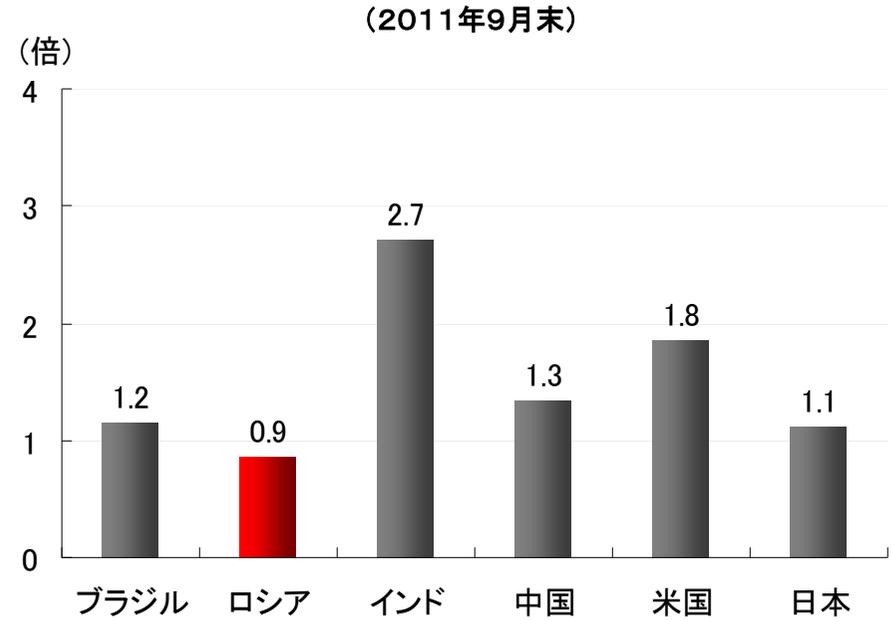
出所: ブルームバーグのデータをもとにHSBC投信が作成

## ロシアの株式市場③

### 主要株式市場の予想株価収益率



### 主要株式市場の株価純資産倍率



注: ブラジル ボベスパ指数、ロシア RTS指数、インド SENSEX30指数、中国 H株指数、米国 S&P500指数、日本 日経平均株価(日経225)  
出所: ブルームバーグのデータをもとにHSBC投信が作成

## 留 意 点

当資料はHSBC投信株式会社が作成した販売用資料です(ただし、販売会社固有情報部分を除きます。同情報の詳細については販売会社にお問い合わせください。)。当資料は信頼に足ると判断した情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。またデータ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。投資信託はリスクを含む商品であり、主に値動きのある有価証券(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は組入有価証券の値動き、為替変動による影響を受けます。したがって元本が保証されるものではありません。投資信託の運用成果(損益)はすべて投資者の皆さまに帰属します。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。購入のお申込みにあたりましては投資信託説明書(交付目論見書)および契約締結前交付書面(目論見書補完書面等)を販売会社からお受け取りの上、十分にその内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

## 委託会社、その他関係法人

<b>委託会社 HSBC投信株式会社</b>	<b>投資顧問会社 (運用委託先) HSBCグローバル・アセット・マネジメント(UK)リミテッド</b>
当ファンドの委託会社として、信託財産の運用指図等を行います。	委託会社よりマザーファンドの運用指図に関する権限の委託を受けて投資判断、発注を行います。
<b>受託会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 (再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社)</b>	<b>販売会社※</b>
当ファンドの受託会社として、信託財産の保管、管理、計算、その他の付随業務等を行います。	当ファンドの販売会社として、募集・販売の取扱い、換金申込の受付、収益分配金の再投資に関する事務、収益分配金、換金代金および償還金の支払等を行います。

※ 販売会社固有情報(金融商品取引業者(登録番号)、加入協会等)については、表紙の左下の「お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は」をご覧ください。販売会社は、投資信託説明書(交付目論見書)の提供場所になります。また当ファンドの販売会社につきましては、以下の照会先でご確認いただけます。

## 照会先

<b>HSBC投信株式会社</b>	<b>電話番号 03-3548-5690</b> (受付時間は営業日の午前9時～午後5時)
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第308号 加入協会／(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会	<b>ホームページ <a href="http://www.assetmanagement.hsbc.com/jp">www.assetmanagement.hsbc.com/jp</a></b>

# お申込みメモ

購入単位	販売会社が個別に定める単位とします。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	購入代金は、販売会社が個別に定める期日までに、販売会社に支払うものとします。 *購入代金とは、購入金額(購入価額×購入口数)に購入時手数料(税込)を加えた金額です。
換金単位	販売会社が個別に定める単位とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目以降に販売会社でお支払いします。
申込締切時間	原則として午後3時までとします。
購入の申込期間	平成23年6月14日から平成24年6月13日まで(当該期間満了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。)
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金には制限を設ける場合があります。
購入・換金の申込受付の中止及び取消し	取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、委託会社は購入・換金の申込受付の中止及び取消しを行う場合があります。
信託期間	無期限(信託設定日:平成19年3月30日)
繰上償還	ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には、信託を終了させる場合があります。
決算日	毎年3月15日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に収益分配方針に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。分配金の受取方法により、分配金を受取る「一般コース」と分配金を再投資する「自動けいぞく投資コース」の2つのコースがあります。
信託金の限度額	5,000億円
公告	日本経済新聞に掲載します。
運用報告書	決算時及び償還時に委託会社が作成し、販売会社を通じて知られたる受益者に交付します。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。原則として、収益分配金、換金時及び償還時の差益に対して課税されます。益金不算入制度、配当控除の適用はありません。
申込受付不可日	日本国内の営業日であっても、ロシアの証券取引所、ロンドン証券取引所、ニューヨーク証券取引所の休場日のいずれかに該当する場合には、購入及び換金の申込受付は行いません。
その他	基準価額(1万口当たり)は、翌日の日本経済新聞朝刊に「ロシア株」の略称で掲載されます。

## 当ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	購入時にご負担いただきます。 購入金額に、 <b>3.675%(税抜3.5%)</b> を上限として、販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。
信託財産留保額	ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対して、 <b>年2.0475%(税抜年1.95%)</b> 運用管理費用は毎日計算され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日、毎計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。 (税抜年1.95%の内訳: 委託会社1.15%、販売会社0.70%、受託会社0.10%) ※委託会社に対する運用管理費用には、運用委託先への報酬(年0.45%)が含まれています。
その他費用・手数料	ファンドの保有期間中、その都度ファンドから支払われます。 (1) 有価証券売買委託手数料／外貨建資産の保管費用／信託財産に関する租税、信託事務処理に要する費用等 (2) 振替制度に係る費用／法定書類の作成、印刷、交付及び届出に係る費用／監査報酬等 ( (2)の項目については、純資産総額に対し上限年0.2%として毎日計算され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日、毎計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。 ) ※その他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に上限額等を表記できません。

※当ファンドの費用の総額については、投資者のファンドの保有期間に応じて異なるため、表記できません。